

金属アーティファクト除去と
シミュレーションソフトの
充実が決め手です。

■ iCATをお知りになったきっかけは何でしょうか？

インプラントのシミュレーションソフトは14年ほど前に他メーカーのものを導入したのですが、そのあとでiCATがいいソフトを作っているという話は勉強会などで聞いて知っていました。

今回CTを買おうと調べていると、iCATはホームページでCTに関する情報が詳しく得られたのがよかったですね。

■ ほぼ他社に決められていたとお聞きしていますが、RevoluXにされた決め手は何でしょうか？

決め手はやはり金属アーティファクト除去ができる再構成ソフト「GIDORA」です。それまで検討していたCTは症例に応じて撮影範囲を変更できることに魅力を感じていましたが、「GIDORA」のアーティファクト除去による画像がきれいなことと、シミュレーションソフトが充実しているところがiCATに覆った理由です。今までシミュレーションソフトを使ってきたので、CTを撮ってそのままインプラントのシミュレーションができなければ意味ないなと思って……。もちろんCT値もきちんと出ていると助かりますね。

■ 導入にあたりご不安はありませんでしたか？

iCATのホームページでCTのことが書かれている「十河がゆく」を読んだり、十河先生のされてる「CT適塾」で事前にいるいろと調べられましたので、導入への不安はありませんでした。

サポートについては、修理拠点が那覇にあり、インターネット経由の遠隔サポートもできるということで大丈夫だろうと思っていました。不安はなかったですよ。

iCATが不安というよりも、フィルムを現像してやっていたのが、いきなりデジタルでネットワーク化してうまく回るだろうかという運用面での不安は少しありましたけど……。

■ CT導入後、診療がどのように変わりましたでしょうか？

CT撮影後、すぐに各チェアで患者さんの目の前でインプラント



シミュレーションができるので説明がしやすくなりました。患者さんにも分かりやすいし、CT撮影をした意味もご理解いただけます。

GIDORA再構成によって3D画像で骨欠損の状態が把握しやすいのも役立っています。ペリオの骨欠損なんてすぐにわかります。一目瞭然ですね。また、デンタル、パノラマだけでは把握しにくい根が重なる大白歯の歯根やその根尖尖変の状態を知ることもかなり役立っています。今までは抜歯なのか根治をするのか迷っていたのがすぐに診断できますね。スピードが速くなりました。

■ 患者さまの反応は変わりましたか？

患者さんもデンタルやパノラマではわかりにくかったのが、3D画像やインプラント断面などの画像だと理解しやすいようで、「すごく分かりやすいですね。」などとかなりいい反応が出ています。

また、CTを導入している歯科医院ということで、インターネットで探して来院してくれる患者さんも増えてきました。

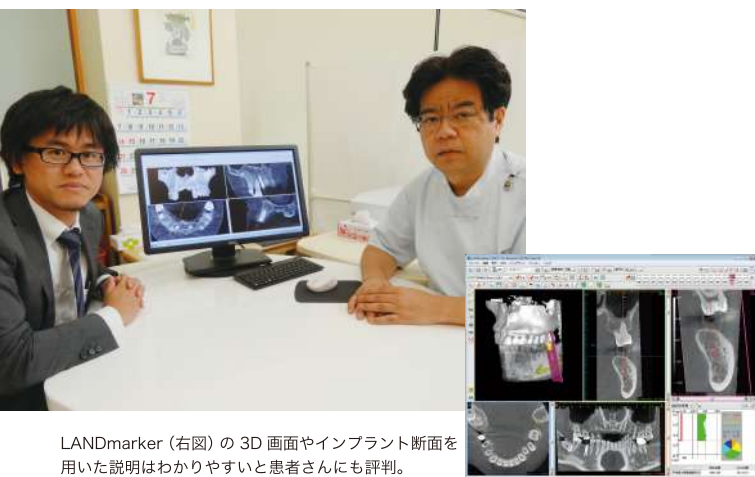
■ サージカルガイドのご使用感はいかがででしょうか？

前に使っていたメーカーのものと、強固さ、精度はそんなに差はないと思いますが、遊離端欠損の症例でLandmark Guideは遠心端を固定すると、近心の歯と遠心端の2点で固定されてガイドがたわみにくいで、近心の方のインプラントがより正確な位置に植立できると感じています。

■ 今後のiCATに望まれることはありますか？

LANDmarkerの詳しい使い方の講習会を沖縄でもやってほしいですね。もっと沖縄でiCATの利用者が増えるといいと思います。使いたして半年になりますが、「あっ、こういうこともできるんだ」ということがあったりして、まあそれも楽しみの一つですけど……。

本日はお忙しいところお時間を頂戴しましてありがとうございました。



LANDmarker (右図) の3D画面やインプラント断面を用いた説明はわかりやすいと患者さんにも評判。